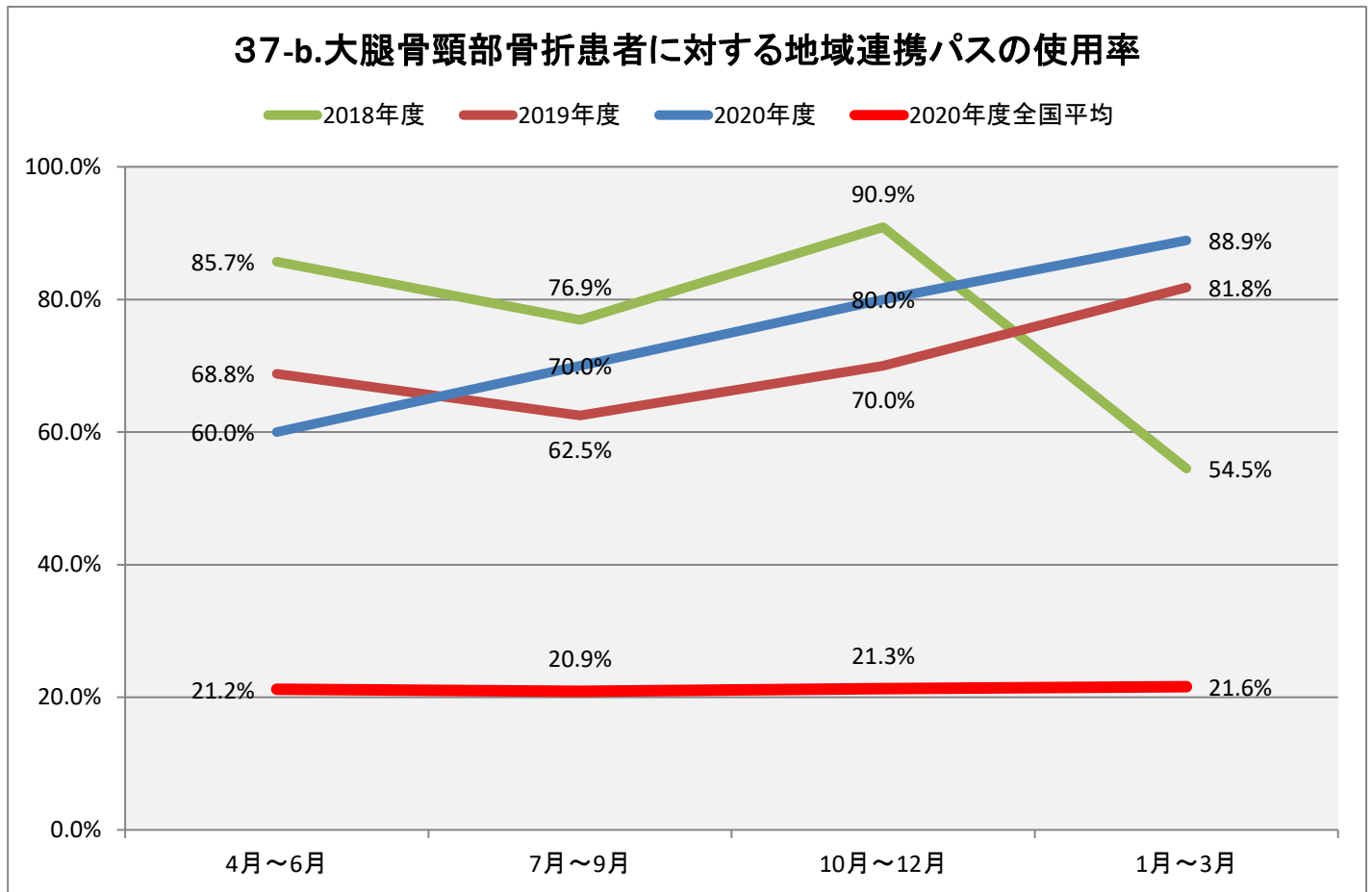


37-b.大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2020年度	60.0%	70.0%	80.0%	88.9%
2019年度	68.8%	62.5%	70.0%	81.8%
2018年度	85.7%	76.9%	90.9%	54.5%
2020年度全国平均	21.2%	20.9%	21.3%	21.6%

(2) 指標の説明

急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要です。大腿骨頸部骨折患者さんに対する地域連携パスの使用率を見ることは、地域医療に関する医療体制を評価することにつながります。
2018年度から採用された項目です。

(3) 定義

分子: 分母のうち「地域連携診療計画加算」を算定した患者数
分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数